

泌 尿 器 科 紀 要

第 11 巻 第 5 号

昭和 40 年 5 月

随 想

学会の在り方に就て

京都大学教授 稲 田 務

学会の在り方とか運営方法等は それぞれの学会によつて種々であるが 日本泌尿器科学会総会に就てみると 昔に比べて会員数が著しく増加して規模が大きくなり 設備 運営方法等に於ける様相も大いに變つて来た。会長を引き受けた人は その準備に専心し 工夫し 苦労する。大過なからん事を第一とするが あまり突飛な事でない限り 必ずしも従来の方式に捉われずに 或る程度の新構想や変化を加える事は望ましいであろう。即ち 時の会長の個人的な意見と云うものも 幾らかは許されることであろう。

昭和41年度総会の会長を仰せつかつている私としても その意味で いろいろ考えているので 随想的にはあるが その構想をここに記して 諸家の批判を仰ぎたいと思う。勿論 或る方法を採用すれば それは万全ではなくて 必ず欠点もある。即ち一長一短がある。その短所は会長が責任を負わねばならぬと覚悟している。

先ず会期であるが 外国の学会のように5日とか7日を当てて 日程をあまり詰めこまずにゆつくりと 社交や観光にも充分に時間を費やすことが出来ればよいが 日本の現状では そうもならぬ。然し学会のために3日間 付随した諸会議のために半日位は必要のようだ。京都であるから花の4月という事になる。春休み中で 1—3日は桜にもやや早く 一般の行事も多く 41年度は3日が日曜であるから それを避けて4日の午後から諸会議を始め5—6—7の3日間を学会に当てよう。月の初めは健保請求業務にて都合のわるい会員もあるが これはかんべんしてほしい。

演説会場は複数ではなく 一会場にする。

演説は一般演説よりも特別講演やシンポジウム等に重点を置いて 時間も多く割当てる。会場が一つで総合的な演説が多くなれば 一般演説で実際に演説される数は少くなり 紙上発表が多くなる。尚 総合的な演題にて発言される機関からの一般演説は 誌上発表の方へお願いする事になるかも知れず この点は 迷惑をかける向きが多いと思われるので 特に御諒承を得たい。

分科会のようなものを別の会場にて行いたい場合には 総会と時間が重複しないように別の時間を考えたい。それだけ学会の時間が延長する。これに関して Colloquium の構想を後に記す。

一般演説にては 時間も短いから 内容があまり細かくならぬように 要点を簡明瞭に話してもらおう。スライドは10枚以内とし あまり小さな字や複雑なものは止めて 単純な一目瞭然たるものにしてもらう。病歴や検査所見を細かく書いて それを次々に流してゆくような事は止めたい。ロンドンの国際学会では簡単なスライドを大きく一枚づつ写し 2枚を

同時に並べて写すような事はなかつた。その方が印象が強い。

誌上発表になつた演題を 追加の形で口述する事は止めたい。

追加や質疑応答が行われた直後に 記録係が原稿用紙を持つて行く事を緩めて 後刻に執筆してもらつてもよいことにする。

文部省 科学研究費総合研究は 日泌学会とは直接の関係はないが 従来から それに関する議事や研究報告は 日泌総会の機会に行われていた。然しそれは総会場に於てではなく別の場所と時間であり 総会場にては代表者の総括的な報告が行われるのみであつた。然し各班員の研究は甚だ立派なものであるから 今回は広く日泌会員に聴いて頂くという意味で総会場にて報告を行いたいと思う。この研究班にて発表せられる内容を一般演説に於ても口述するという重複は これによつて避けることも出来る。

会場が一つであるための欠点を補う意味もあつて Colloquium という事を考えた。この名称を付した集会は米国では盛んに行われているようである。Webster 辞典によると conversation, discussion meeting, conference, seminar, lecture 等の訳語がある。夜間に行われることもある。私の考えでは 予め演題を幾つか択び 座長を決めて公表し 参加者を一般から募集する。参加希望者は希望題目と簡単な発言内容 (400字以内) を記して学会宛てに申込む。具体的には 学会第1日 (4月5日) 午後7時から8時半まで。演題毎に別の会場にて討議する。会の運営進行は座長に一任する。話し合うのが中心であるが 必要ならば 2-3枚のスライドを用意しておかれてもよからう。この題目に関係ある演題は 一般演説としてよりも この方へ申し込まれるのがよいと思う。

会場受付に於ける混雑を避けるために 会場費払込みとか 懇親会費受け等の業務は出来るだけ会期前に済ませて置きたい。

演説が行われている時間中に 呼び出しのスライドを写すことは なるべく止めたい。演説の邪魔になるので区切りの時間に示すようにする。

総会懇親会もわるくないが 近年は人数が多くなり混雑して あまり意味がないように思われるので 従来からの形式のものは止めて 昼食懇親会という形で試みてみようと思う。今度の会場附近には昼食のための十分な食堂がないので どうしても昼食場を特設せねばならぬ。これを懇親会と兼用にしようとの考えである。正午から1時半までとする。昼であるから簡単なものになる。会員相互に久闊を叙するという程度のものである。1日200円の昼食懇親会券を予め購入してもらい 3日間とも昼食懇親会とする。

観光については 京都附近では観光地が多く 会員諸氏も各自それぞれに御計画があると思うので こちらであまり出しやばらないようにと思う。そこで幾つかの観光コースをお目につけ その中の御希望のコースを撰んでもらうことになる。

宿泊所も 信用ある業者と特約し 旅館の等級 料金等を発表するから 業者の方へ直接に申込んでもらうようにする。これらの事は日泌誌に発表する。

一般に 必要な事は充分にやりたいが 形式的な事やお祭り騒ぎ的な事はなるべく止めたい。看板とか装飾等も少くしたいと思う。ロンドンの国際学会では看板も貼紙も全くなかつた。

以上 まことに勝手な考えを押しつけるようで恐縮であるが これも一つの試みとして御寛容賜わらんことを願ひする。